

## 家づくりの知識 断熱材

冬のあたたかさを決める大きなポイントが、壁の中につかわれている「断熱材」。見えない部分ではありますが、住み心地に直結する大切な要素です。南国・鹿児島とはいえ、冬はやっぱり冷え込みますよね。キチッと断熱をしておくことで、裸足のまま室内で過ごすこともできるんです。

ところで、断熱材って断熱以外の性能もあるって知っていますか？ 断熱性能以外にも、施工性、安全性、調湿性、吸音性などがあるんです。

風雅匠房が採用している「デコスドライ」は、手の届きにくい柱のすき間や、コンセント・スイッチボックスの裏側までしっかりと埋めることができると施工性が高い断熱材です。

また、シックハウスの原因になる化学物質の放散試験では、無垢の床材と同じレベルの安全性が確認されています。

吸音性が高いと家の中の音が外に漏れにくくなり、また外からの車や雨の音もやわらぎ、家の中が落ち着いた空間となります。静かな環境も暮らしの心地よさに大きく関わる大切なポイントですよね。

断熱材と聞くと“温度のためだけのもの”と思われるがちですが、このような性能をうまく活かすことでより快適に暮らすことができそうですね。

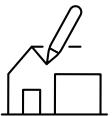


断熱材ってどれがいいの？

デコスドライ（セルロースファイバー）以外にもグラスウールや発泡ウレタンなど様々な断熱材があります。どの断熱材も断熱性能自体にはそこまで大きな差はない、一番の違いは施工性です。グラスウールは安価ですが施工に慣れた職人でないと設計した性能が発揮できず、その分手間費が上がってしまうこともあります。袋入りのグラスウールが最も施工が楽で安価ですが、隙間がでかく設計性能を発揮させやすい特徴があります。ただし施工上の制限もありグラスウールと比較すると費用が高くなります。大事なのはどの断熱材を選ぶかではなく、断熱材の特徴を理解した会社が確実に施工してくれるかどうかです。

一級建築士 深野木

## 家族に寄り添い、暮らしを楽しむ 風雅匠房の家づくり



完全自由設計  
プランもデザインも制限なく、ご家族の暮らしに合わせて一から設計



断熱性能  
鹿児島の気候、家の大きさ、費用対効果を考え最適な性能をご提案します



耐震性能  
間取りから耐震までトータルで考えられた「間崩れしない家」で更に安心



省令準耐火  
火災時の延焼を防ぎ、被害を最小限に抑える省令準耐火仕様



パッシブデザイン  
敷地条件を読み取り光や風、熱を活用する設計で快適な住環境を実現



社内一級建築士  
ヒアリングから間取り提案、お引渡しまで社内一級建築士が担当

風雅匠房は、間取りや設備、素材や仕上げまで、すべてを自由に考えられる完全自由設計の家づくりを行っています。

ご家族の暮らし方や価値観に寄り添いながら、家族ごとに違う想いやベースを大切にしながら、「どう建てるか」ではなく「どう進めるか」まで選べる家づくりをご提案しています。

## HP・Instagram からのお問合せ

施工例やイベント情報を発信しています!!  
DMもお気軽に!!

fuga\_fukanokigumi

fuga\_fukanokigumi

fuga\_fukanokigumi

△Instagram △HP

# 木かげ たより